

府中市長 高野 律雄様

2021年度予算要望書

前安倍内閣の下で2度目となった消費税増税による負担増に加え、2020年からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響が国民生活に大きな影響を与えています。

特に、新型コロナ禍での営業自粛や外出自粛、学校の休校措置などにより、経済活動に大きな落ち込みがみられ、中小事業者が営業継続の危機にさらされています。

また、台風や豪雨、震災などの自然災害が各地で起こり、2019年の19号台風は、その脅威を府中市民も経験を持って感じ取りました。

突然の辞任となった安倍首相をそのまま無反省に継承した菅新首相は、めざすべき社会像として「自助、共助、公助」を強調し、「自分でできることは、まず、自分でやってみる」と自己責任での対応を国民に求めています。

しかし、感染症や自然災害などに対応するには、自助、共助では立ち行かず、公助こそ中心にすえるべきです。

今こそ府中市の豊かな財政力を行使し、市民の命と暮らし、営業を守るために公的責任を果たす必要があります。

よって、日本共産党市議団は、2021年度予算編成に当たり、市民生活を守る積極的な予算配分を求め、以前からの継続的要望も含め153項目について要望します。

2020年10月30日

日本共産党府中市議団

日本共産党府中市委員会